

2026年3月27日

## 九州で併設型蓄電池 3 案件が稼働開始

～ ブルースカイエナジー

再エネの有効活用と電力安定化に貢献 ～

### ■概要

ブルースカイエナジー株式会社は、大分県および鹿児島県において、既設太陽光発電所に併設する蓄電池設備の建設工事を完了し、順次運転を開始いたしました。

本事業は、経済産業省の「再生可能エネルギー電源併設型蓄電池導入支援事業」※1 の採択を受けて実施したものであり、運転開始に伴い、対象発電所の売電方式を FIT 制度※2 から FIP 制度※3 へ移行しております。



### ■背景と目的

再生可能エネルギーの導入拡大に伴い、特に九州エリアでは、電力需要を超えた供給が発生する時間帯に太陽光発電等の出力を抑制する「出力制御」※4 が頻発しています。一方、太陽光発電の出力が低下する夕方・夜間は再生可能エネルギーからの電力供給が不足し、火力発電所の出力調整等による需給バランスの確保が行われている状況です。

太陽光発電所に蓄電池を併設することで、出力制御時の余剰電力を蓄え、電力が求められる時間帯に放電することが可能となり、再エネ電力の有効活用と電力系統の安定化を同時に実現することができます。

### ■事業概要

今回運転を開始した全 3 施設の合計太陽光発電出力は約 6 MW、蓄電池容量は合計約 25 MWh であり、年間想定発電量は約 700 万 kWh（一般家庭約 2,000 世帯相当※5）を見込んでいます。各施設の概要は以下のとおりです。

所在地	大分県宇佐市
太陽光発電出力	AC 2 MW
蓄電池出力／容量	約 2 MW / 約 8MWh

所在地	鹿児島県伊佐市
太陽光発電出力	AC 2 MW
蓄電池出力／容量	約 2 MW / 約 8MWh

所在地	鹿児島県南九州市
太陽光発電出力	AC 1,750MW
蓄電池出力／容量	約 2 MW / 約 8MWh

## ■本事業の特徴

### 1. 出力制御の回避と再生可能エネルギーの最大活用

#### 1. 出力制御の回避と再エネの最大活用

出力制御により活用されていなかった余剰電力を蓄電池に充電し、需要の高い時間帯に放電することで、再生可能エネルギーの利用効率を大幅に向上させます。(タイムシフト運用)。

### 2. 系統安定化への貢献

出力制御対応に加え、天候等による太陽光発電の出力変動を蓄電池によって緩和することで、電力系統の安定化に寄与します。卸電力市場や需給調整市場との連携により、電力需給バランスの最適化にも貢献します。

### 3. FIT 制度を活用した市場連動型運用

FIT 制度から FIP 制度へ移行し、卸電力市場の価格動向を踏まえた最適な充放電制御を実施します。市場価格が低い時間帯に充電し、価格が高い時間帯に放電する市場連動型の運用により、再エネ電源としての事業性向上と電力市場への統合を推進します。

### 4. 遠隔監視・制御システムによる高度な運用

AI を活用した発電量予測と市場価格予測に基づく充放電計画の最適化、遠隔監視システムによる 24 時間体制の安定運用を実現します。

## ■今後の展開

当社は、再生可能エネルギーの導入拡大と安定供給の両立を目指し、蓄電池の設置を積極的に推進してまいります。2029 年までに 100 か所の開発を目指します。また、FIP 制度を活用した市場連動型運用のノウハウ蓄積を進めるとともに、需給調整市場への参入等マルチユース運用※6の展開も視野に入れ、事業価値の最大化を図ります。

## ■ブルースカイエナジーについて

ブルースカイエナジーは、「自然エネルギーを未来へつなぐ」をスローガンに、日本

の主力電源化を支えるインフラ開発・運営に注力しています。次世代エネルギー戦略の鍵となる系統用蓄電所の EPC 事業、および開発事業環境破壊を伴わない太陽光発電所のリパワリング（設備更新/効率化）を全国展開しています。

**【当社の強みと事業内容】**

全国 24 拠点による一気通貫体制により自社グループで完結。土地調達から、太陽光発電・蓄電所の設計・施工（EPC）、さらには日常修繕等 O&M（保守管理業務）により地域密着型の迅速な対応が可能です。

**【太陽光発電のリパワリング実績（全国 100 か所・150MW 超）】**

経年化した発電所のパネル等を設備へ更新し発電効率を最大化。

出力制御対策や売電収益の向上を支援します。

系統用蓄電所・併設型蓄電池の開発、脱炭素社会の実現に不可欠な系統用蓄電所の開発を加速。2029 年までに全国 100 か所以上の設置を目標とし、太陽光発電併設型蓄電池の導入による FIP 制度への対応も推進しています。

ブルースカイエナジーは高度技術と地域ネットワークを駆使し、再生可能エネルギーの価値を最大化させ、持続可能な未来を創造します。

#ブルースカイエナジー #EPC 事業 #インフラ #発電所 #再生可能エネルギー #系統用蓄電池 #系統用蓄電所 #出力制御対策 #FIP 制度 #O&M #保守管理 #太陽光 #脱炭素社会 #併設型蓄電池 #投資

会社名	ブルースカイエナジー株式会社
所在地	東京都中央区日本橋三丁目 9-1 日本橋三丁目スクエア 2 階
代表者	上原 美樹
設立	2012 年 10 月
事業内容	蓄電所および再生可能エネルギーの開発、施工、運用・管理など
公式サイト	<a href="https://www.blueskyenergy.co.jp/">https://www.blueskyenergy.co.jp/</a>

**（注釈）**

※1 再生可能エネルギー電源併設型蓄電池導入支援事業：再生可能エネルギー発電設備に FIP 認定を取得した蓄電池を併設する事業に対し、導入経費の一部を補助する経済産業省の事業。再エネ発電の最大限の活用促進と自立的な導入拡大を目的とする。

※2 FIT 制度（固定価格買取制度）：再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が一定価格で一定期間買い取ることを国が保証する制度。

※3 FIP 制度（フィードインプレミアム制度）：再生可能エネルギー発電事業者が卸電力市場等で売電した際に、基準価格（FIP 価格）と参照価格（市場価格の平均）の差額をプレミアム（供給促進交付金）として交付する制度。市場連動により再エネ電源の自立化を促進する。

※4 出力制御：電力の供給が需要を上回る見込みの場合に、一般送配電事業者が再エネ発電事業者に対し発電出力の抑制を指示するもの。

※5 環境省「令和 6 年度家庭部門の CO2 排出実態統計調査資料編」世帯あたり消費電力量全国平均値より試算。

※6 マルチユース運用：タイムシフト（時間帯の移行）、卸電力市場でのアービトラージ（裁定取引）、需給調整市場への調整力供出など、蓄電池の複数の収益源を組み合わせる

用すること。

<本件に関するお問い合わせ先>  
ブルースカイエナジー株式会社  
広報窓口  
mail : [kouhou@blueskyenergy.co.jp](mailto:kouhou@blueskyenergy.co.jp)